

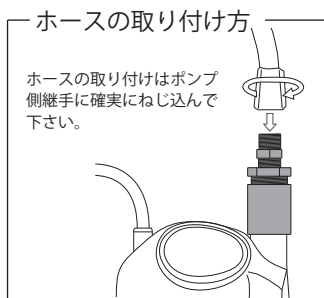
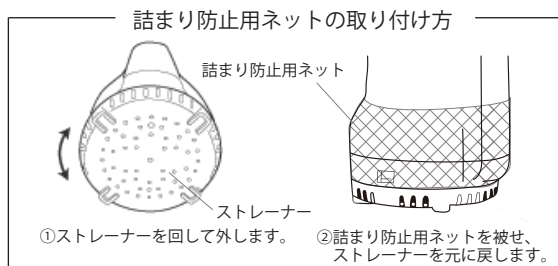
③ 保護装置（サーマルプロテクター）について

ポンプ内部にはモーターの保護の為、サーマルプロテクターが内蔵されています。何らかの原因で過負荷運転となり、モーターの温度が上昇した場合、自動的に停止しモーターの保護をします。（自動停止後にモーター内の温度が下がれば、自動復帰します。）このような状態が続いたまま運転を続けられますと、故障の原因となりますので、下記の点について点検をお願いします。点検の際は必ず電源プラグを電源から抜いて下さい。

- ・インペラに異物が入ってロックしている。(P.6「保守・点検」参照)
- ・電源電圧が低下している。(取扱説明書に記載されている以外の延長コードを使用したり容量の小さい発電機を使用しますと電源電圧が低下します。P.4 1-6「ご使用になる前に」参照)
- ・比重の大きい液体、または粘度の高い液体を使用している。
- ・長時間の空気中運転（空運転）。

△ 注意 ヘドロ状の液体には使用しないで下さい。ポンプの故障の原因になります。

④ 詰まり防止ネット、ホースの取付方法



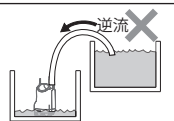
使用方法

1. ポンプを水中に沈めて下さい。電源コードやホースを持って行うと、断線やホース抜けが発生します。ポンプのハンドルにロープなどを結び付け、ゆっくりと水中に入れて下さい。（本体全体水没を推奨します）

2. シャワーヘッドの先端が水に入らないようにして下さい。ポンプ停止時に、ホースの先端が水面より高い位の場合、サイフォンの作用で水が逆流します。

△ 注意

ホースの先端が水面よりも低い場所にある場合、ポンプ停止時にサイフォン現象により水が流出します。ポンプ停止時にはホースを水面より高い位置に置いて下さい。



3. 電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
4. シャワーヘッドの切り替えボタンでシャワーと止水の切り替えができます。

△ 注意

シャワーの先端を締め切るのは5分以内にして下さい。

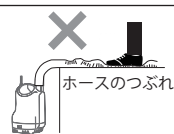
5. ポンプ運転中は空運転させないように水位に注意して下さい。水が出なくなりましたら速やかにポンプを停止させて下さい。

△ 注意

このポンプは1日約8時間の運転設定としており、累計約3000時間使用できますが、24時間連続運転には使用できません。シール部分の劣化が進み、早期故障の原因となります。

△ 注意

ポンプ運転中にホースを踏んだり、吐出側のバルブを急激に締め切ったりすると、瞬間的に大きな圧力がポンプケース内にかかります。ポンプ破損の原因となりますのでご注意ください。



△ 注意

- ❗ 電源コードや電源プラグが傷んでいないか、コンセントの緩みがないか、電源プラグやその周辺にほこりがついていないか、定期的に確認してください。また、異常がある場合は使用しないでください。火災・感電・ショートの原因になります。
- ⊘ 電源コードを傷付けたり、加工や無理に曲げたり、引っ張ったりねじったり、束ねたりしないで下さい。また、重い物を乗せたり挟み込まないで下さい。火災や感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないで下さい。火災や感電の原因になります。
- ❗ ご使用にならない時は必ず、電源プラグをコンセントから抜いてポンプを水中から出して下さい。絶縁劣化による感電や漏電の原因になります。
- ❗ このポンプは水中ポンプです。必ず水の中に入れて使用して下さい。空運転（水のない状態での運転）はしないで下さい。故障の原因となります。
- ❗ ポンプ使用液温度は5℃以上 40℃以下です。使用液温度外の清水または、汚水・海水・油・溶剤・薬品・酸性・アルカリ性の液体には使用しないで下さい。ポンプの破損につながります。
- ⊘ 運転中の本体内部に手や指を入れないで下さい。故障やケガの原因になります。
- ⊘ 運転中は、本体に衝撃を与えないで下さい。また、運転中に移動させないで下さい。故障やケガの原因になります。
- ⊘ 電源コードやホースを持ってポンプを水中から引き上げないで下さい。電源コードを引っばるとコードの破損による感電・火災の恐れがあります。
- ❗ 動かなくなったり、異常のある場合は、直ちに電源プラグを抜いて弊社に点検修理をご依頼下さい。そのまま使用されると感電・ショート・発火の原因となります。
- ⊘ 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いて下さい。電源コードを引っばるとコードの破損による感電・火災の恐れがあります。